

## 令和5年度習志野市災害医療対策本部及び応急救護所訓練 反省結果

できた：○ できなかった：× どちらでもない：△

災害拠点病院・救急告示病院

### 1. 設営について

目標	済生会 習志野	習志野 第一	津田沼 中央総合	谷津 保健	追記
無線機、プリンター、タブレット、アンテナの正しい接続・操作ができた	○	○	○	○	【津田沼中央総合】今回、4人で病院3階北側にアンテナを、手術室前に無線設備を設置。
・要した時間はどのくらいでしたか	8分	10分	11分	10分	【津田沼中央総合】4人で1階倉庫から搬出し設置した時間
・設置には、何人必要ですか	3人	2人	1~4人	1人	【津田沼中央総合】1人での設置は20分かかる
・設置可能な人員は何人いますか	3人	2人	4人	1人	

### 2. 無線について

目標	済生会 習志野	習志野 第一	津田沼 中央総合	谷津 保健	追記
音声での通信ができた(受信・送信共に)	○	○	○	○	【津田沼中央総合】10wで送信。習一と二中の受信が出来ない時あり。
画像電送ができた(受信・送信共に)	○	○	○	○	
印刷ができた	○	○	○	○	【津田沼中央総合】途中インク切れあり

### 3. 情報の整理について

目標	済生会 習志野	習志野 第一	津田沼 中央総合	谷津 保健	追記
無線で得られる情報をホワイトボードや紙面等で整理できた	○	×	○	×	1人では無理だった

### 4. EMISについて

目標	済生会 習志野	習志野 第一	津田沼 中央総合	谷津保健	追記
病院の被災想定を踏まえ、EMISを入力できた	○	○	○	×	【津田沼中央総合】EMISアプリを活用
・EMIS 入力可能な人員は何人いますか	5人	2人	4人	通常日中は10人以上	

## 5. その他、ご意見等（次年度の訓練に向けてご意見 等）

### 済生会習志野病院

- ・無線の混雑解消案として病院用、応急救護所用の無線機が設置可能であればよいのではと感じた。
- ・無線の待機時間が長かった。応急救護所と病院で使用する周波数を別とし、本部も救護所からの情報を受け、病院からの情報を受け指示する者と別に役割を設けた方がスムーズに情報伝達できると思う。
- ・習志野市災害専用メールのようなツールを作成し無線等複数の通信手段を準備しておくことで情報伝達が可能になるのではと感じた。次年度以降の訓練において並行して行うことができればより実践的な訓練になるのではないかと感じた。
- ・EMIS 入力について個人練習モードを利用と当日確認したが、入力状況を見ていると訓練終了までに入力がされていない医療機関があった。練習モード以外に訓練番号を取得して訓練モード使用も検討しても良いのではと感じた。また、各医療機関に練習モード使用での入力の周知、EMIS 入力練習など市内の医療機関の皆様と合同で行っても良いのではと感じた。当院 DMAT メンバーもご協力できるのではないと思う。
- ・EMIS 入力を画面印刷して無線報告は必要ないと感じた。（EMIS は本部でも確認できる。）
- ・災害医療対策本部について、無線からの情報を基に方針を検討されていたが、無線からの情報収集に時間を要していたのではと感じた。災害医療対策本部については一定の時間になりましたら被害想定をコントローラーから投入する形で本部運営を進めていけるとよろしいのではと感じた。訓練終了までに待機している時間が長くなってしまっているように感じた。
- ・災害医療対策本部訓練としてエマルゴ・トレーニング・システム（災害医療の教育・訓練を行うための机上シミュレーション）も活用しても良いのではと感じた。
- ・今回の訓練を見学させていただくことで習志野市災害医療対策本部の動き（応急救護所との連携）について把握することができた。災害発生時の対応についてはこのような訓練の積み重ねが非常に重要と考える。日々の業務における連携と共に顔の見える関係を築いていくことが災害に有効と考える。

### 習志野第一病院

- ・設置した無線機器とアンテナ写真を撮影後、画像伝送したが、無線報告のみでいいのではないか。（4 病院）屋上までアンテナ撮影に行ったが、普段は屋上に行くドアは施錠してあるので時間がかかった。
- ・当院の被災状況では、ライフライン特に停電状態のため、実際には画像伝送は難しいのではと思う。当院の非常電源は、約 8 時間持つことになっているが、全館を補うものではない。非常電源のあるところまで移動後、設置が必要になるため時間がかかる。画像伝送は受け側が 1 台しかないため、時間がかかる。出来れば画像伝送の周波数を 2 種類にして病院間で予め決めておくといいのではないか。（理想は市側の機器 4 台で、病院間でそれぞれの周波数を決めておく等）今までの経験から画像伝送はビジターとなり時間がかかってしまう。
- ・各病院の被災状況は簡単なものでよい。ライフラインのうちどれがダメでもよい。
- ・とにかく画像伝送が多いのでその点を改善してほしい。

## 津田沼中央総合病院

- ・9時には防災無線で総合防災訓練開始のアナウンスがあり、病院の窓を開けており、休日ということもあり、とても聞き取りやすかった。
- ・職員用緊急情報サービス「ならしの」は9:10に参集メールを受信済。
- ・いくつかの病院が先日配布していた「病院被害想定」を音声通信で読み上げていたが、情報量が多く聞き取るのが大変なので、各病院がEMISに直接入力すれば済むのではと思った。EMISに入力出来ない時に代行入力依頼を画像伝送する・画像伝送出来ない時に被災状況を音声で伝えるなどのルール決めが必要と考える。
- ・画像通信はいつも訓練しているので問題なく行えた。ただし画像送信の時はアプリの問題でRS-MS3Aの再起動が毎回必要だった。
- ・今後もし災害時医療救護活動が必要になった時に、病院内で患者トリアージ・診療をしながら、無線通信での搬送受け入れの割り当てをスムーズに判断伝達出来るように、災害時の病院業務をルーチン化していく必要があると思った。

## 谷津保健病院

- ・とても充実した訓練だったと思う。次回は、谷津保健病院も人員を追加して臨むことを院内で提案したい。

## 検討事項

- ・無線設置や周波数については、機材準備や配置体制、関係団体との調整等に係るため、丁寧に検討していく。
- ・今年度より、関係団体へ参集メール等導入開始。現時点では一方的な伝達・情報提供ツールのため、その他の活用方法について検討する。
- ・EMIS入力は活用すべきツールのため、提示いただいたEMIS訓練を検討していく。総合防災訓練時並行して実施すべきか、別途EMIS訓練とするかは検討する。
- ・今回は画像伝送訓練も兼ねていたため、画像伝送の機会を多用した。実際の有事では、アンテナ設置画像やEMIS画面等は不要と理解している。参加者への説明不足と画像を多用したことでの無線のビジー状態が生じた。今回の反省を踏まえ、次年度訓練では画像伝送機会を調整する。
- ・病院の被災状況の付与内容については被災状況を踏まえ、EMIS入力内容を選択してもらうために作成した。参加者への説明不足が生じた。
- ・EMIS入力のルールについて確認整理する。